



2020年度 前期

学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2.	【演習】		4
3. 授業改善アンケート結果【講義—全体・科目別】			5
4. 教員からのコメント一覧【講義】			15
5. 授業改善アンケート結果【演習—全体・科目別】			17
6. 教員からのコメント一覧【演習】			37

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	Teams/Zoom : 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa : 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	Teams/Zoom : 授業の進行速度は適切だった。 Glexa : 授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	Teams/Zoom : 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa : 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は (5 : 9割以上、4 : 8~7割程度、3 : 6~5割程度、2 : 4割程度、1 : 3割以下) だった。	5(9割以上)、4(8~7割程度)、3(6~5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

全体集計結果

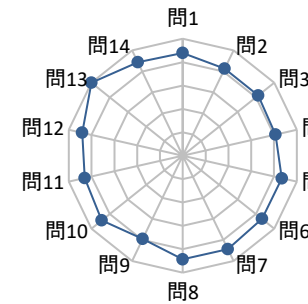
科目区分	講義	履修登録者数	817	提出者数	214
科目数	10	未提出者数	603	提出率	26%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

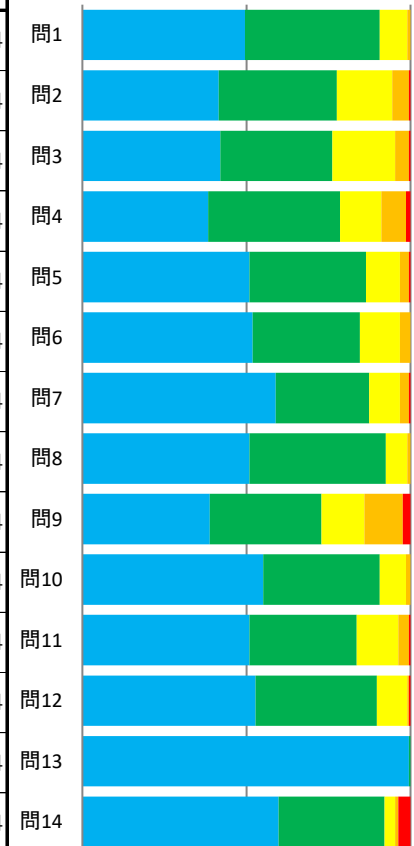
全体平均

青色:全体平均



問	設問文	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
			5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.39	106(50%)	88(41%)	18(8%)	2(1%)	0(0%)	0	214
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.13	89(42%)	77(36%)	36(17%)	11(5%)	1(0%)	0	214
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.13	90(42%)	73(34%)	41(19%)	9(4%)	1(0%)	0	214
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.07	82(38%)	86(40%)	27(13%)	16(7%)	3(1%)	0	214
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.34	109(51%)	76(36%)	22(10%)	6(3%)	1(0%)	0	214
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.33	111(52%)	70(33%)	26(12%)	7(3%)	0(0%)	0	214
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.43	126(59%)	61(29%)	20(9%)	6(3%)	1(0%)	0	214
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.43	109(51%)	89(42%)	14(7%)	2(1%)	0(0%)	0	214
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.95	83(39%)	73(34%)	28(13%)	25(12%)	5(2%)	0	214
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.44	118(55%)	76(36%)	17(8%)	3(1%)	0(0%)	0	214
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.30	109(51%)	70(33%)	27(13%)	7(3%)	1(0%)	0	214
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.41	113(53%)	79(37%)	20(9%)	1(0%)	1(0%)	0	214
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	213(100%)	1(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	214
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.43	128(60%)	69(32%)	7(3%)	2(1%)	8(4%)	0	214

■ 強く思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2A0010	科目名	赤十字概論	担当教員	角田敦彦	履修登録者数	89	提出者数	22
						未提出者数	67	提出率	25%

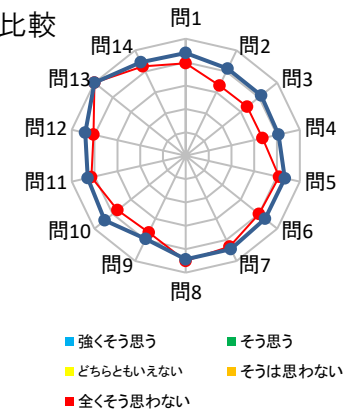
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

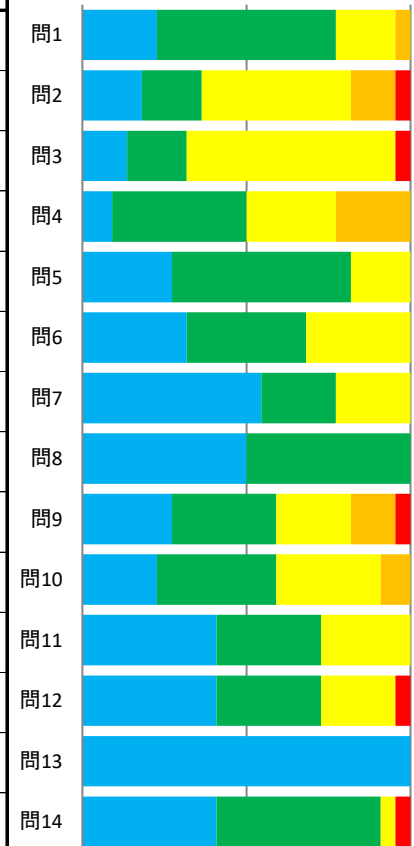
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	3.98
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3.95	4.39	5(23%)	12(55%)	4(18%)	1(5%)	0(0%)	0	22
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3.32	4.13	4(18%)	4(18%)	10(45%)	3(14%)	1(5%)	0	22
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3.36	4.13	3(14%)	4(18%)	14(64%)	0(0%)	1(5%)	0	22
4	授業の内容はわかりやすかった。	3.36	4.07	2(9%)	9(41%)	6(27%)	5(23%)	0(0%)	0	22
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.09	4.34	6(27%)	12(55%)	4(18%)	0(0%)	0(0%)	0	22
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.00	4.33	7(32%)	8(36%)	7(32%)	0(0%)	0(0%)	0	22
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.32	4.43	12(55%)	5(23%)	5(23%)	0(0%)	0(0%)	0	22
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.50	4.43	11(50%)	11(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.64	3.95	6(27%)	7(32%)	5(23%)	3(14%)	1(5%)	0	22
10	教員の熱意が伝わってきた。	3.73	4.44	5(23%)	8(36%)	7(32%)	2(9%)	0(0%)	0	22
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.14	4.30	9(41%)	7(32%)	6(27%)	0(0%)	0(0%)	0	22
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.05	4.41	9(41%)	7(32%)	5(23%)	0(0%)	1(5%)	0	22
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	22(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.23	4.43	9(41%)	11(50%)	1(5%)	0(0%)	1(5%)	0	22



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2B0030	科目名	心理学概論	担当教員	遠藤公久	履修登録者数	77	提出者数	22
						未提出者数	55	提出率	29%

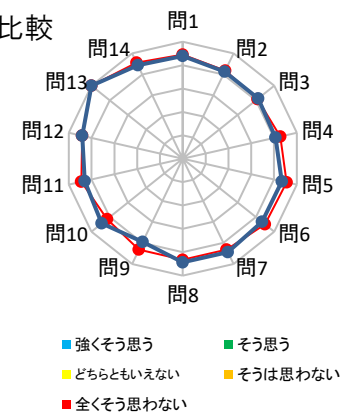
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

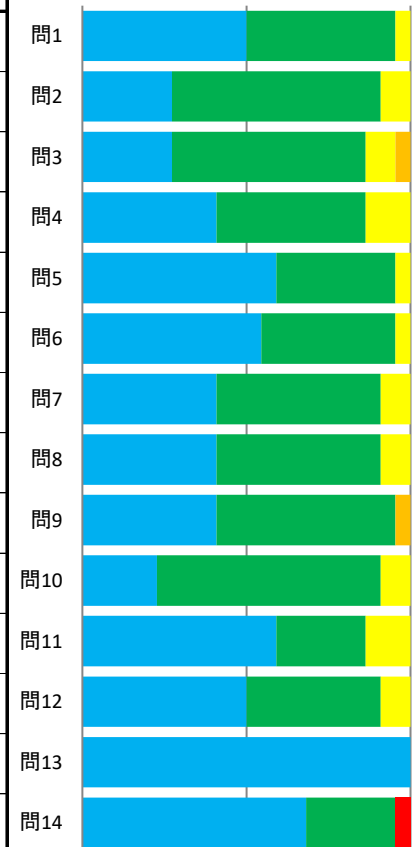
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.40
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.45	4.39	11(50%)	10(45%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.18	4.13	6(27%)	14(64%)	2(9%)	0(0%)	0(0%)	0	22
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.09	4.13	6(27%)	13(59%)	2(9%)	1(5%)	0(0%)	0	22
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.27	4.07	9(41%)	10(45%)	3(14%)	0(0%)	0(0%)	0	22
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.55	4.34	13(59%)	8(36%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.50	4.33	12(55%)	9(41%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.32	4.43	9(41%)	11(50%)	2(9%)	0(0%)	0(0%)	0	22
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.32	4.43	9(41%)	11(50%)	2(9%)	0(0%)	0(0%)	0	22
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4.32	3.95	9(41%)	12(55%)	0(0%)	1(5%)	0(0%)	0	22
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.14	4.44	5(23%)	15(68%)	2(9%)	0(0%)	0(0%)	0	22
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.45	4.30	13(59%)	6(27%)	3(14%)	0(0%)	0(0%)	0	22
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.41	4.41	11(50%)	9(41%)	2(9%)	0(0%)	0(0%)	0	22
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	22(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.55	4.43	15(68%)	6(27%)	0(0%)	0(0%)	1(5%)	0	22



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2D0020	科目名	生物学	担当教員	宮崎正峰	履修登録者数	84	提出者数	22
						未提出者数	62	提出率	26%

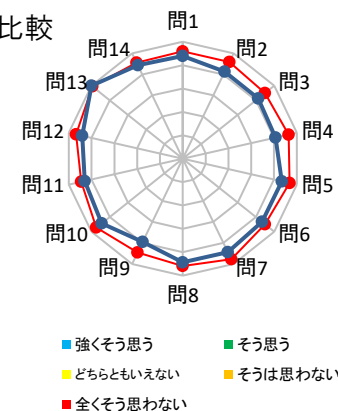
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

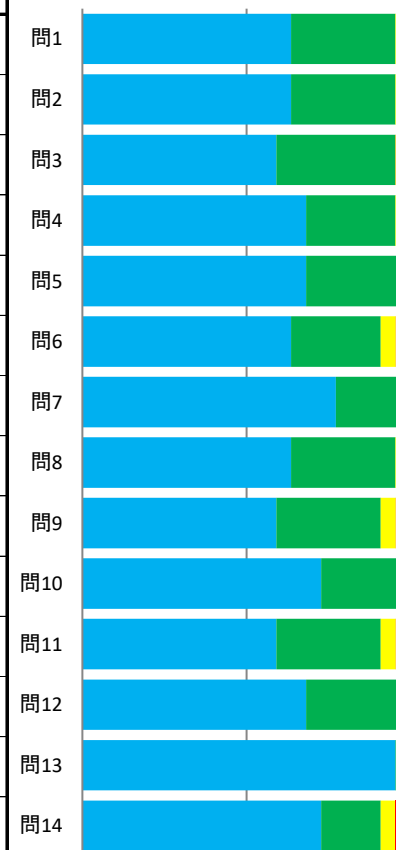
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.62
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.59	4.39	14(64%)	7(32%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.59	4.13	14(64%)	7(32%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.50	4.13	13(59%)	8(36%)	0(0%)	1(5%)	0(0%)	0	22
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.64	4.07	15(68%)	6(27%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.68	4.34	15(68%)	7(32%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.50	4.33	14(64%)	6(27%)	1(5%)	1(5%)	0(0%)	0	22
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.77	4.43	17(77%)	5(23%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.59	4.43	14(64%)	7(32%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0	22
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4.45	3.95	13(59%)	7(32%)	1(5%)	1(5%)	0(0%)	0	22
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.73	4.44	16(73%)	6(27%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.45	4.30	13(59%)	7(32%)	1(5%)	1(5%)	0(0%)	0	22
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.68	4.41	15(68%)	7(32%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	4.95	5.00	21(95%)	1(5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	22
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.55	4.43	16(73%)	4(18%)	1(5%)	0(0%)	1(5%)	0	22



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2D0030	科目名	化学	担当教員	三好洋	履修登録者数	33	提出者数	11
						未提出者数	22	提出率	33%

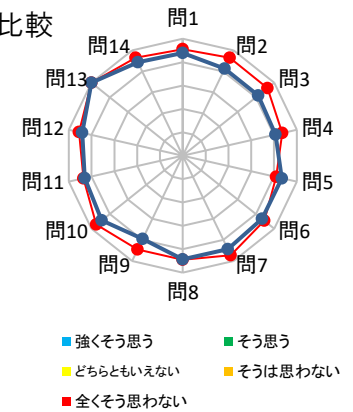
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

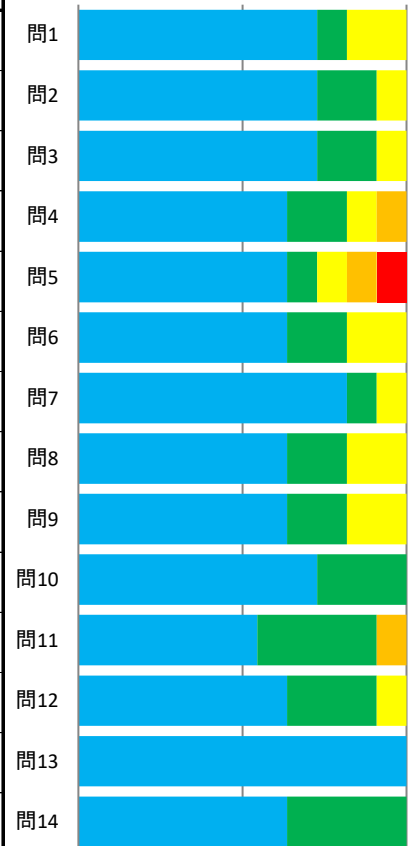
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.55
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.55	4.39	8(73%)	1(9%)	2(18%)	0(0%)	0(0%)	0	11
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.64	4.13	8(73%)	2(18%)	1(9%)	0(0%)	0(0%)	0	11
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.64	4.13	8(73%)	2(18%)	1(9%)	0(0%)	0(0%)	0	11
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.36	4.07	7(64%)	2(18%)	1(9%)	1(9%)	0(0%)	0	11
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.09	4.34	7(64%)	1(9%)	1(9%)	1(9%)	1(9%)	0	11
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.45	4.33	7(64%)	2(18%)	2(18%)	0(0%)	0(0%)	0	11
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.73	4.43	9(82%)	1(9%)	1(9%)	0(0%)	0(0%)	0	11
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.45	4.43	7(64%)	2(18%)	2(18%)	0(0%)	0(0%)	0	11
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4.45	3.95	7(64%)	2(18%)	2(18%)	0(0%)	0(0%)	0	11
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.73	4.44	8(73%)	3(27%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	11
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.36	4.30	6(55%)	4(36%)	0(0%)	1(9%)	0(0%)	0	11
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.55	4.41	7(64%)	3(27%)	1(9%)	0(0%)	0(0%)	0	11
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	11(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	11
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.64	4.43	7(64%)	4(36%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	11



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2H0010	科目名	人体の構造と機能Ⅰ(解剖生理学・生化学①)	担当教員	白井美穂	履修登録者数	89	提出者数	37
						未提出者数	52	提出率	42%

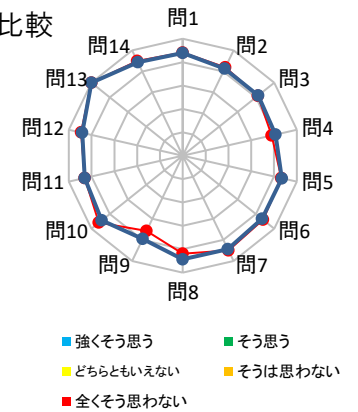
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

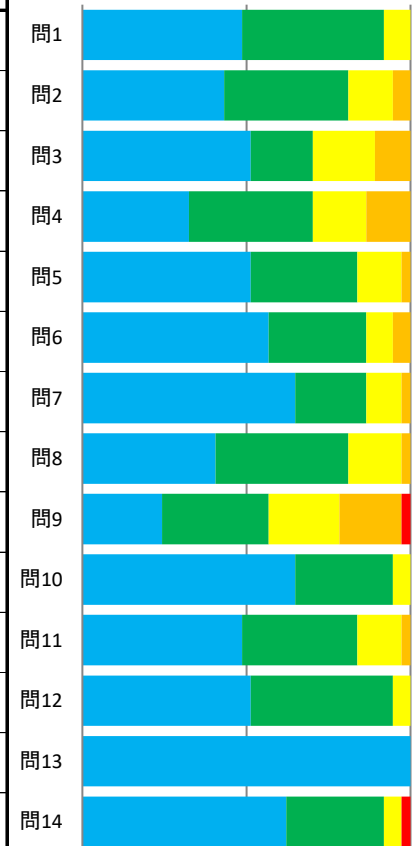
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.31
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.41	4.39	18(49%)	16(43%)	3(8%)	0(0%)	0(0%)	0	37
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.19	4.13	16(43%)	14(38%)	5(14%)	2(5%)	0(0%)	0	37
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.11	4.13	19(51%)	7(19%)	7(19%)	4(11%)	0(0%)	0	37
4	授業の内容はわかりやすかった。	3.89	4.07	12(32%)	14(38%)	6(16%)	5(14%)	0(0%)	0	37
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.32	4.34	19(51%)	12(32%)	5(14%)	1(3%)	0(0%)	0	37
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.38	4.33	21(57%)	11(30%)	3(8%)	2(5%)	0(0%)	0	37
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.49	4.43	24(65%)	8(22%)	4(11%)	1(3%)	0(0%)	0	37
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.19	4.43	15(41%)	15(41%)	6(16%)	1(3%)	0(0%)	0	37
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.57	3.95	9(24%)	12(32%)	8(22%)	7(19%)	1(3%)	0	37
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.59	4.44	24(65%)	11(30%)	2(5%)	0(0%)	0(0%)	0	37
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.30	4.30	18(49%)	13(35%)	5(14%)	1(3%)	0(0%)	0	37
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.46	4.41	19(51%)	16(43%)	2(5%)	0(0%)	0(0%)	0	37
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	37(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	37
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.49	4.43	23(62%)	11(30%)	2(5%)	0(0%)	1(3%)	0	37



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2H0020	科目名	人体の構造と機能Ⅱ(解剖生理学・生化学②)	担当教員	白井美穂	履修登録者数	89	提出者数	25
						未提出者数	64	提出率	28%

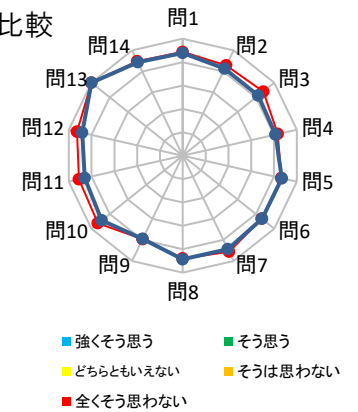
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

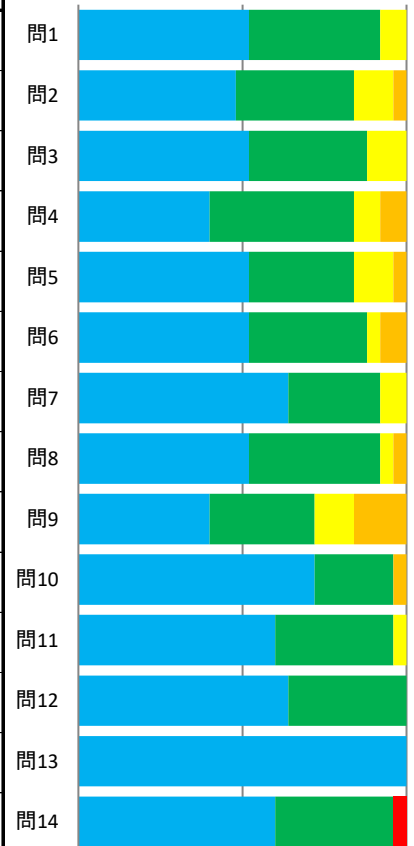
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.44
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.44	4.39	13(52%)	10(40%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	0	25
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.28	4.13	12(48%)	9(36%)	3(12%)	1(4%)	0(0%)	0	25
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.40	4.13	13(52%)	9(36%)	3(12%)	0(0%)	0(0%)	0	25
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.16	4.07	10(40%)	11(44%)	2(8%)	2(8%)	0(0%)	0	25
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.32	4.34	13(52%)	8(32%)	3(12%)	1(4%)	0(0%)	0	25
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.32	4.33	13(52%)	9(36%)	1(4%)	2(8%)	0(0%)	0	25
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.56	4.43	16(64%)	7(28%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	0	25
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.40	4.43	13(52%)	10(40%)	1(4%)	1(4%)	0(0%)	0	25
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.96	3.95	10(40%)	8(32%)	3(12%)	4(16%)	0(0%)	0	25
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.64	4.44	18(72%)	6(24%)	0(0%)	1(4%)	0(0%)	0	25
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.56	4.30	15(60%)	9(36%)	1(4%)	0(0%)	0(0%)	0	25
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.64	4.41	16(64%)	9(36%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	25
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	25(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	25
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.48	4.43	15(60%)	9(36%)	0(0%)	0(0%)	1(4%)	0	25



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	210010	科目名	看護学概論 I	担当教員	岡田彩子	履修登録者数	89	提出者数	24
						未提出者数	65	提出率	27%

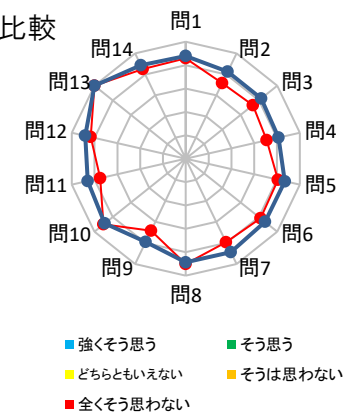
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

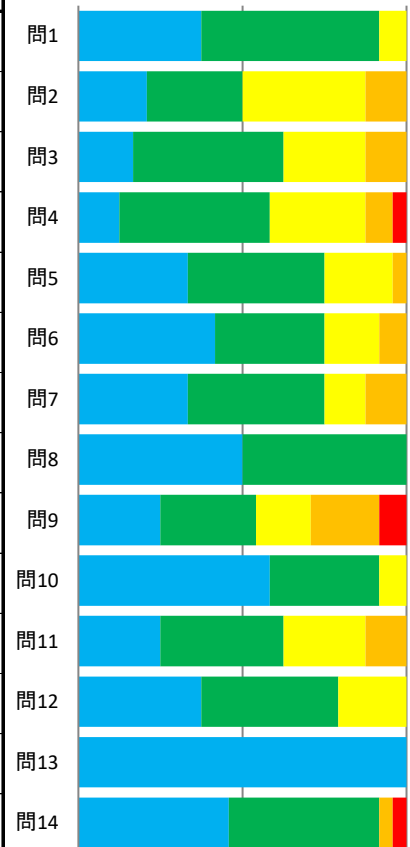
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.05
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.29	4.39	9(38%)	13(54%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	0	24
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3.58	4.13	5(21%)	7(29%)	9(38%)	3(13%)	0(0%)	0	24
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3.67	4.13	4(17%)	11(46%)	6(25%)	3(13%)	0(0%)	0	24
4	授業の内容はわかりやすかった。	3.54	4.07	3(13%)	11(46%)	7(29%)	2(8%)	1(4%)	0	24
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.04	4.34	8(33%)	10(42%)	5(21%)	1(4%)	0(0%)	0	24
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.08	4.33	10(42%)	8(33%)	4(17%)	2(8%)	0(0%)	0	24
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3.96	4.43	8(33%)	10(42%)	3(13%)	3(13%)	0(0%)	0	24
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.50	4.43	12(50%)	12(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	24
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.42	3.95	6(25%)	7(29%)	4(17%)	5(21%)	2(8%)	0	24
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.50	4.44	14(58%)	8(33%)	2(8%)	0(0%)	0(0%)	0	24
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3.75	4.30	6(25%)	9(38%)	6(25%)	3(13%)	0(0%)	0	24
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.17	4.41	9(38%)	10(42%)	5(21%)	0(0%)	0(0%)	0	24
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	24(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	24
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.25	4.43	11(46%)	11(46%)	0(0%)	1(4%)	1(4%)	0	24



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2K0030	科目名	看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)	担当教員	喜多里己	履修登録者数	89	提出者数	15
						未提出者数	74	提出率	17%

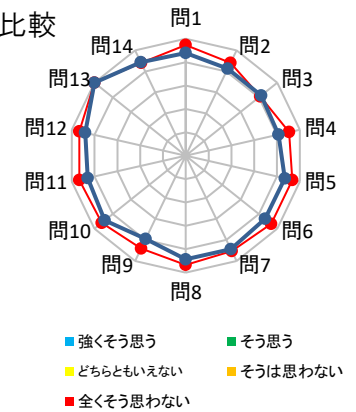
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

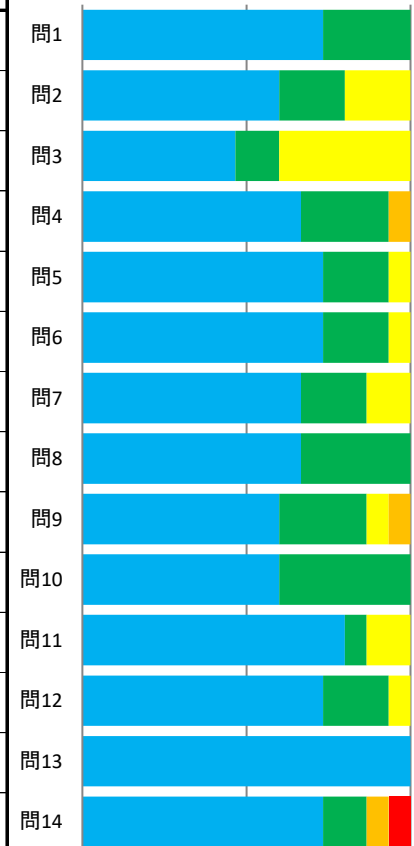
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.57
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.73	4.39	11(73%)	4(27%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.40	4.13	9(60%)	3(20%)	3(20%)	0(0%)	0(0%)	0	15
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.07	4.13	7(47%)	2(13%)	6(40%)	0(0%)	0(0%)	0	15
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.53	4.07	10(67%)	4(27%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	15
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.67	4.34	11(73%)	3(20%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	15
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.67	4.33	11(73%)	3(20%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	15
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.53	4.43	10(67%)	3(20%)	2(13%)	0(0%)	0(0%)	0	15
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.67	4.43	10(67%)	5(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4.40	3.95	9(60%)	4(27%)	1(7%)	1(7%)	0(0%)	0	15
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.60	4.44	9(60%)	6(40%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.67	4.30	12(80%)	1(7%)	2(13%)	0(0%)	0(0%)	0	15
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.67	4.41	11(73%)	3(20%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	15
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	15(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.40	4.43	11(73%)	2(13%)	0(0%)	1(7%)	1(7%)	0	15



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2L0010	科目名	コミュニティ論 I	担当教員	鷹田佳典	履修登録者数	89	提出者数	21
						未提出者数	68	提出率	24%

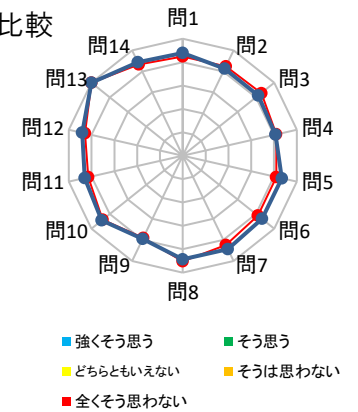
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

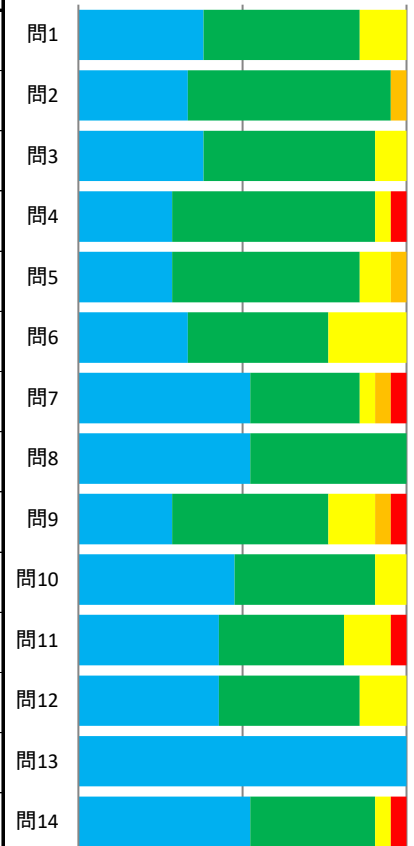
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.28
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.24	4.39	8(38%)	10(48%)	3(14%)	0(0%)	0(0%)	0	21
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.24	4.13	7(33%)	13(62%)	0(0%)	1(5%)	0(0%)	0	21
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.29	4.13	8(38%)	11(52%)	2(10%)	0(0%)	0(0%)	0	21
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.10	4.07	6(29%)	13(62%)	1(5%)	0(0%)	1(5%)	0	21
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.10	4.34	6(29%)	12(57%)	2(10%)	1(5%)	0(0%)	0	21
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.10	4.33	7(33%)	9(43%)	5(24%)	0(0%)	0(0%)	0	21
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Lexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.24	4.43	11(52%)	7(33%)	1(5%)	1(5%)	1(5%)	0	21
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.52	4.43	11(52%)	10(48%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	21
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Lexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3.90	3.95	6(29%)	10(48%)	3(14%)	1(5%)	1(5%)	0	21
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.38	4.44	10(48%)	9(43%)	2(10%)	0(0%)	0(0%)	0	21
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Lexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.14	4.30	9(43%)	8(38%)	3(14%)	0(0%)	1(5%)	0	21
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.29	4.41	9(43%)	9(43%)	3(14%)	0(0%)	0(0%)	0	21
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	21(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	21
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.33	4.43	11(52%)	8(38%)	1(5%)	0(0%)	1(5%)	0	21



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(講義)

日本赤十字看護大学

科目コード	2P0030	科目名	災害看護論	担当教員	池田穂子	履修登録者数	89	提出者数	15
						未提出者数	74	提出率	17%

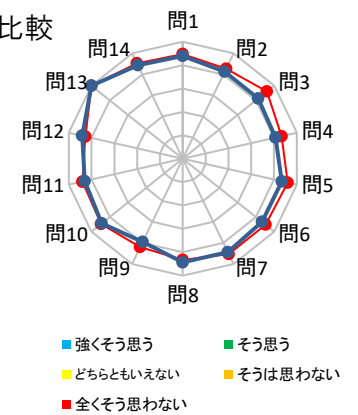
*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、講義の平均です。

*選択肢について
5:強く思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない

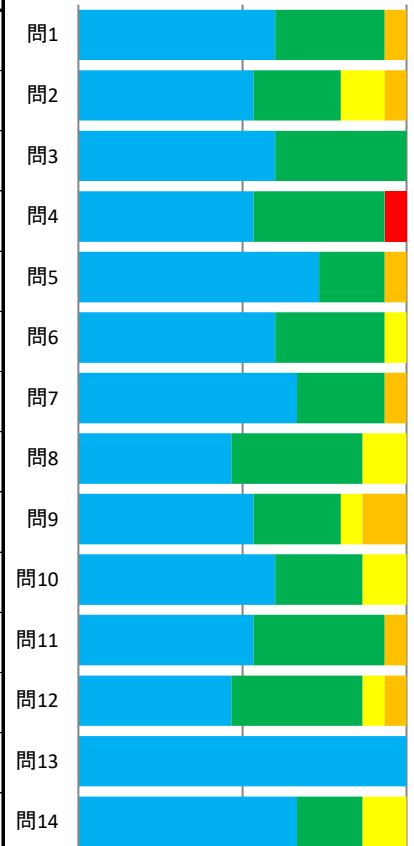
科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均

設問平均	4.47
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)					無効回答	有効回答
				5 強く思う	4 そう思う	3 どちらともいえない	2 そうは思わない	1 全くそう思わない		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.47	4.39	9(60%)	5(33%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	15
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4.27	4.13	8(53%)	4(27%)	2(13%)	1(7%)	0(0%)	0	15
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4.60	4.13	9(60%)	6(40%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
4	授業の内容はわかりやすかった。	4.33	4.07	8(53%)	6(40%)	0(0%)	0(0%)	1(7%)	0	15
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4.60	4.34	11(73%)	3(20%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	15
6	この授業は自分にとって価値があった。	4.53	4.33	9(60%)	5(33%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	15
7	Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4.53	4.43	10(67%)	4(27%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	15
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4.33	4.43	7(47%)	6(40%)	2(13%)	0(0%)	0(0%)	0	15
9	Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4.20	3.95	8(53%)	4(27%)	1(7%)	2(13%)	0(0%)	0	15
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.47	4.44	9(60%)	4(27%)	2(13%)	0(0%)	0(0%)	0	15
11	Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4.40	4.30	8(53%)	6(40%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	15
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.27	4.41	7(47%)	6(40%)	1(7%)	1(7%)	0(0%)	0	15
13	私の授業への出席率は (5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5.00	5.00	15(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	15
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4.53	4.43	10(67%)	3(20%)	2(13%)	0(0%)	0(0%)	0	15



No.	科目コード	科目名	担当教員名	コメント
B001	2A0010	赤十字概論	角田敦彦	今年度初めて導入されたオンデマンドでの講義提供でしたが、導入当初はサーバーへの負担を考慮してスライドのみの配布とさせていただきます。結果として、動画付きの講義や双方向リモートの講義と比べて皆さんの十分な理解が得にくい環境となったようです。今回の意見を参考に、できる限り双方向性のある講義を導入していきたいと思います。
B002	2B0030	心理学概論	遠藤公久	回答者が3割弱と少なくとも残念です。パワーポイントによる説明は時間的制約があり、講師としてもなかなか慣れでもあり、わかりづらいところもあったかもしれませんが、比較的高評価をいただきました。また、来年度もよりわかりやすく授業になるようにしていきたいと思います。
B006	2D0020	生物学	宮崎正峰	今年度は先生もみなさんも初めてであろうオンライン授業という形で通常の対面授業とは違う面も多く、お互いなかなか大変だったのではないのでしょうか。でも、みなさんが楽しい授業の雰囲気をつくってくれましたので助かりました。ありがとうございます。授業の動物の行動の話でも触れましたが、理想的な環境はいつも心に望みながらも、仮にいまある現実が理想と違っていてもその環境でその環境なりのベストを求めて行動する。だからといって理想をあきらめるのではなく、理想が来た時にはそれに向かっていく。そういった気持ちを大切に私たちもがんばっていきましょう。
B007	2D0030	化学	三好洋	シラバスにも書いたように、看護と関連した内容あるいは身近な例を取り上げるように努めていますので、伝わっていたのであれば嬉しく思います。実演はおおむね好評だったようですので、来年度も続けたいと思います。講義スライドのリンクは、興味をもってくれた学生さんが自分自身でリンクを辿って復習してくれることを願って作成していますので、実践してくれたことが確認でき、とても嬉しく思いました。確認テストは、可能な限り早くコメントを書いて返却することが重要だと考えています。時間が経ってから学生さんが読み返すことは学習効果が薄いと考えています。今年度は困難な環境下で、アンケートにしても適切な時期に行われていないために、提出率が悪くとても残念でした。来年度がどのような講義運営になるのかは現時点（2020年12月）ではわかりませんが、今年度同様に受講生の負担にならないように、講義の運営に努めたいと思います。最後になりますが、オンラインでの講義はこちらも不慣れな点があり、質問などで不自由があったようです。申し訳なく思います。
B024	2H0010	人体の構造と機能Ⅰ（解剖生理学・生化学①）	白井美穂	受講いただいた学生の皆様、大変難しい科目を同時双方向で行うことになり、分りにくい点も多かったと思います。特に改善したほうが良い点として①ノートの取り方がわからない②教科書と資料の進め方を考えてほしい③話すスピードが早い点③グループワークでの話し合いの時間がもう少し欲しかった等があげられました。このような意見を取り入れ、次年度はノートの取り方の指導やより教科書に沿った授業展開、ゆっくり話すといった工夫を取り入れてよりよい授業を作っていきたいと思います。
B025	2H0020	人体の構造と機能Ⅱ（解剖生理学・生化学②）	白井美穂	受講いただいた学生の皆様、大変難しい科目を同時双方向で行うことになり、分りにくい点も多かったと思います。特に改善したほうが良い点として①ノートの取り方がわからない②教科書と資料の進め方を考えてほしい③話すスピードが早い点③グループワークでの話し合いの時間がもう少し欲しかった等があげられました。このような意見を取り入れ、次年度はノートの取り方の指導やより教科書に沿った授業展開、ゆっくり話すといった工夫を取り入れてよりよい授業を作っていきたいと思います。

No.	科目コード	科目名	担当教員名	コメント
B026	2I0010	看護学概論Ⅰ	岡田彩子	授業改善に向けて、建設的なご意見をありがとうございます。以下、今後検討していきます。 ① リモート授業のグループワークについて 講義を展開している当初は、専任教員はTeamsの使用を推奨されていました。その後Zoom が使用できるようになった背景から、皆さんには、ご苦勞をおかけいたしました。今後は適切なツールを選択して、展開していけるようにします。 ② パワーポイントの資料について スライドの背景について、配布用は白黒に変更いたします。 ③ 事前・事後課題について 大学での学修は高校の時の勉強方法と異なることをご理解下さい。しかし今年度はその説明と導入が不十分な点や、遠隔授業の導入で、皆さんにご負担をかけてしまったと思います。今後は皆さんの学習環境や準備性を十分に考慮して柔軟に対応していきます。 その他に「視野を広げることができた」、「看護師としての経験を聞く事ができてよかった」、「看護というものに対して関心を持つことができた」とご意見をいただきました。是非、今後の看護専門科目を学修されるときに活かして下さい。
B029	2K0030	看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）	喜多里己	フィードバックをありがとうございました。すべてオンデマンド型授業で、学生さんと一度もお会いできない授業でしたが、リアクションシートに書かれた感想や質問に助けられて授業を進めることができました。今後は、もう少し早めに資料をアップできるようにしていきます。
B030	2L0010	コミュニティ論Ⅰ	鷹田佳典	今年度は全ての回をオンデマンド形式で行いました。リアクションペーパーへのリプライを行うことで、疑問点などが解消されたという評価もあり、次年度も継続したいと考えています。一方、内容を詰め込みすぎたところもあるため、余裕を持って授業を進められるよう、講義内容をもう一度検討し直したいと思います。
B031	2P0030	災害看護論	池田稔子	今年は流行病により、オンデマンド配信になり申し訳ありませんでした。毎回の振り返り（短文）や最終レポートには個々にコメント返信させていただきました。そして、Glexa上で適時質疑応答ができましたので、全体的にはスムーズに全講義の受講が進められていたと感じます。学生さんから、YouTube動画へのリンクは非常に簡単に受講しやすかったとご意見を頂いておりますので、今後も適宜取り入れられればと思います。ありがとうございました。

全体集計結果

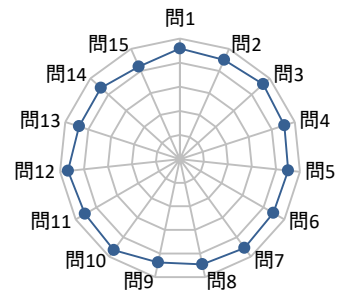
科目区分	演習	履修登録者数	597	提出者数	107
科目数	20	未提出者数	490	提出率	18%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

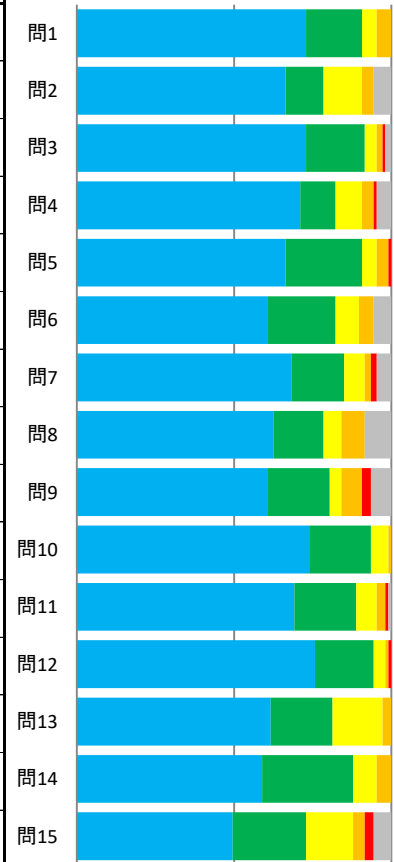
全体平均

青色:全体平均



問	設問文	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
			5	4	3	2	1	0		
			強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.59	78(73%)	19(18%)	5(5%)	5(5%)	0(0%)	-	0	107
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.50	71(66%)	13(12%)	13(12%)	4(4%)	0(0%)	6(6%)	0	107
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.64	78(73%)	20(19%)	4(4%)	2(2%)	1(1%)	2(2%)	0	107
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.55	76(71%)	12(11%)	9(8%)	4(4%)	1(1%)	5(5%)	0	107
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.51	71(66%)	26(24%)	5(5%)	4(4%)	1(1%)	-	0	107
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.47	65(61%)	23(21%)	8(7%)	5(5%)	0(0%)	6(6%)	0	107
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.55	73(68%)	18(17%)	7(7%)	2(2%)	2(2%)	5(5%)	0	107
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.46	67(63%)	17(16%)	6(6%)	8(7%)	0(0%)	9(8%)	0	107
9	演習の時間配分は適切だった。	4.38	65(61%)	21(20%)	4(4%)	7(7%)	3(3%)	7(7%)	0	107
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.66	79(74%)	21(20%)	6(6%)	1(1%)	0(0%)	-	0	107
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.55	74(69%)	21(20%)	7(7%)	3(3%)	1(1%)	1(1%)	0	107
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.67	81(76%)	20(19%)	4(4%)	1(1%)	1(1%)	-	0	107
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.40	66(62%)	21(20%)	17(16%)	3(3%)	0(0%)	-	0	107
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.42	63(59%)	31(29%)	8(7%)	5(5%)	0(0%)	-	0	107
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.20	53(50%)	25(23%)	16(15%)	4(4%)	3(3%)	6(6%)	0	107

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

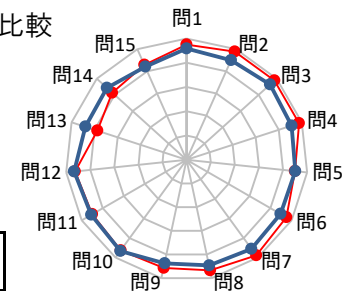
科目コード	2B0081	科目名	身体運動実技	担当教員	白井美穂	履修登録者数	24	提出者数	8
						未提出者数	16	提出率	33%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

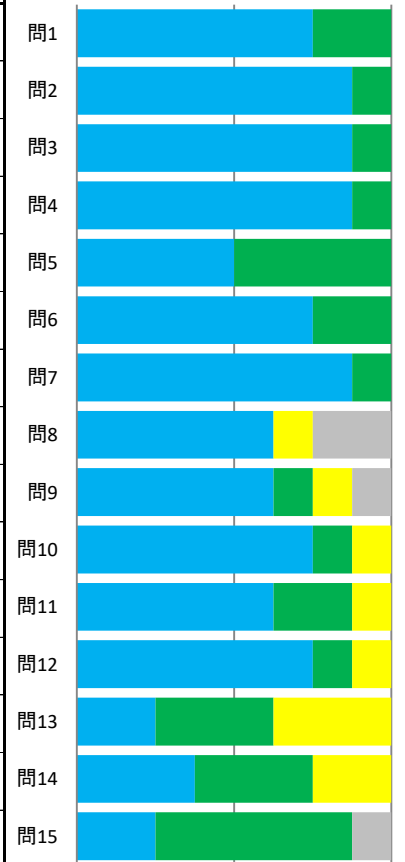
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	4.59
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.75	4.59	6(75%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.88	4.50	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.88	4.64	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.88	4.55	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.50	4.51	4(50%)	4(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.75	4.47	6(75%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.88	4.55	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.67	4.46	5(63%)	0(0%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	2(25%)	0	8
9	演習の時間配分は適切だった。	4.57	4.38	5(63%)	1(13%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.63	4.66	6(75%)	1(13%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.50	4.55	5(63%)	2(25%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.63	4.67	6(75%)	1(13%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	3.88	4.40	2(25%)	3(38%)	3(38%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.13	4.42	3(38%)	3(38%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.29	4.20	2(25%)	5(63%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

科目コード	2B0082	科目名	身体運動実技	担当教員	白井美穂	履修登録者数	26	提出者数	7
						未提出者数	19	提出率	27%

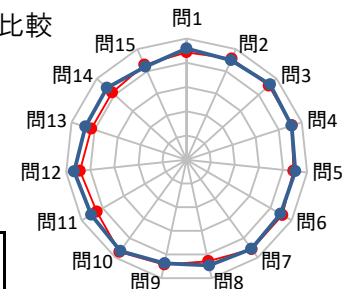
* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

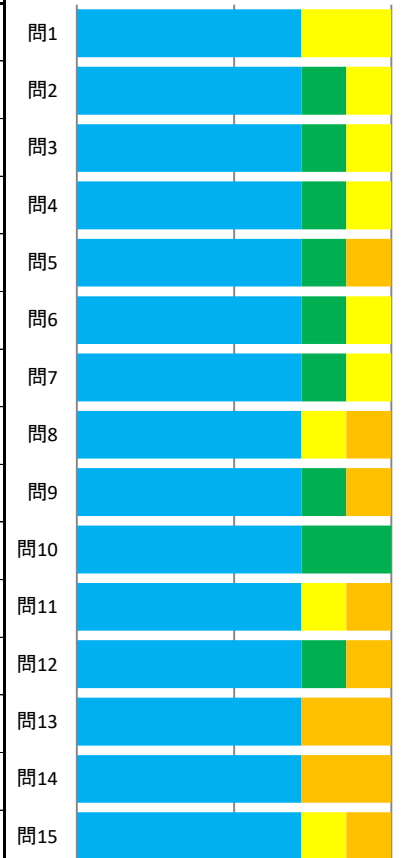
赤色: 科目平均
青色: 全体平均

設問平均	4.43
------	------



■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.43	4.59	5(71%)	0(0%)	2(29%)	0(0%)	0(0%)	-	0	7
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.57	4.50	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.57	4.64	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.57	4.55	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.43	4.51	5(71%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	-	0	7
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.57	4.47	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.57	4.55	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.29	4.46	5(71%)	0(0%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
9	演習の時間配分は適切だった。	4.43	4.38	5(71%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.71	4.66	5(71%)	2(29%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	7
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.29	4.55	5(71%)	0(0%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.43	4.67	5(71%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	-	0	7
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.14	4.40	5(71%)	0(0%)	0(0%)	2(29%)	0(0%)	-	0	7
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.14	4.42	5(71%)	0(0%)	0(0%)	2(29%)	0(0%)	-	0	7
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.29	4.20	5(71%)	0(0%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

科目コード	2B0083	科目名	身体運動実技	担当教員	白井美穂	履修登録者数	24	提出者数	4
						未提出者数	20	提出率	17%

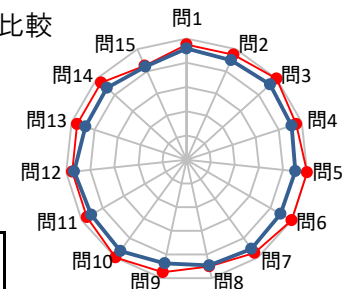
* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

赤色: 科目平均
青色: 全体平均

設問平均	4.77
------	------



■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.75	4.59	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.75	4.50	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5.00	4.64	4(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.75	4.55	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5.00	4.51	4(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5.00	4.47	4(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.75	4.55	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.50	4.46	3(75%)	0(0%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
9	演習の時間配分は適切だった。	4.75	4.38	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
10	教員の熱意が伝わってきた。	5.00	4.66	4(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.75	4.55	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.75	4.67	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.75	4.40	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.75	4.42	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.25	4.20	2(50%)	1(25%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

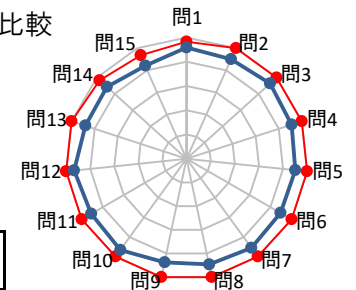
科目コード	2F0021	科目名	英語RW I	担当教員	川崎修一	履修登録者数	44	提出者数	6
						未提出者数	38	提出率	14%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

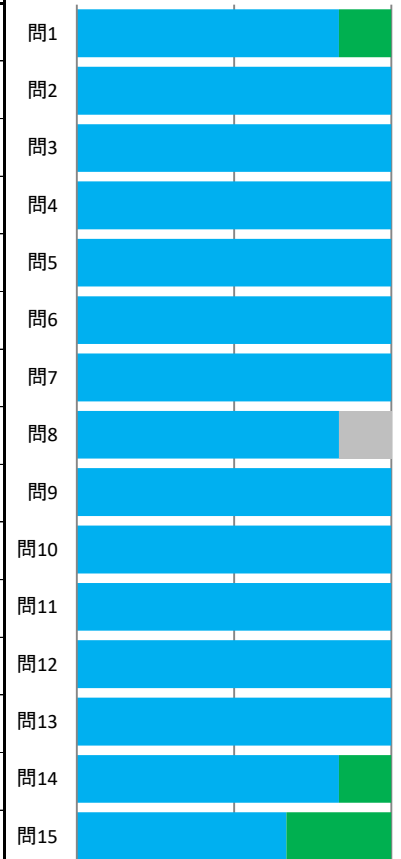
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	4.96
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.83	4.59	5(83%)	1(17%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5.00	4.50	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5.00	4.64	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5.00	4.55	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5.00	4.51	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5.00	4.47	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5.00	4.55	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5.00	4.46	5(83%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(17%)	0	6
9	演習の時間配分は適切だった。	5.00	4.38	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
10	教員の熱意が伝わってきた。	5.00	4.66	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5.00	4.55	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5.00	4.67	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5.00	4.40	6(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.83	4.42	5(83%)	1(17%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	6
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.67	4.20	4(67%)	2(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	6

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

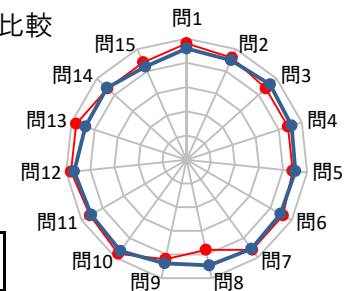
科目コード	2F0022	科目名	英語RW I	担当教員	川崎修一	履修登録者数	45	提出者数	5
						未提出者数	40	提出率	11%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

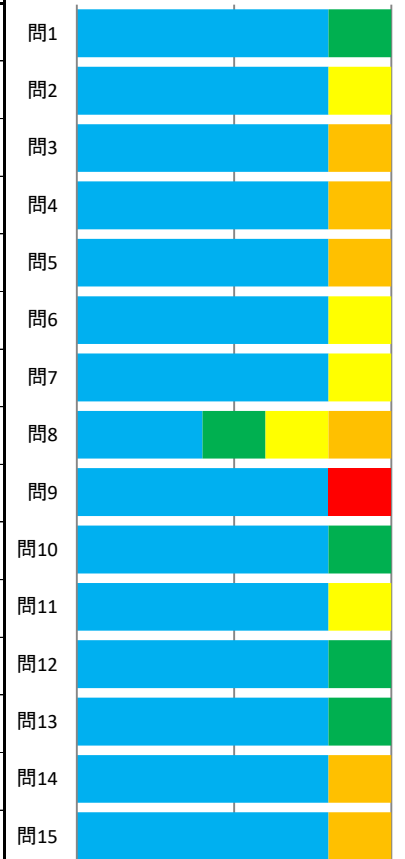
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.51
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.80	4.59	4(80%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	5
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.60	4.50	4(80%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	5
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.40	4.64	4(80%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0	5
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.40	4.55	4(80%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0	5
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.40	4.51	4(80%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	-	0	5
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.60	4.47	4(80%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	5
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.60	4.55	4(80%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	5
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	3.80	4.46	2(40%)	1(20%)	1(20%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0	5
9	演習の時間配分は適切だった。	4.20	4.38	4(80%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0	5
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.80	4.66	4(80%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	5
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.60	4.55	4(80%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	5
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.80	4.67	4(80%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	5
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.80	4.40	4(80%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	5
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.40	4.42	4(80%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	-	0	5
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.40	4.20	4(80%)	0(0%)	0(0%)	1(20%)	0(0%)	0(0%)	0	5

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

科目コード	2F0051	科目名	英語LS	担当教員	ニコルソン・チャールズ	履修登録者数	23	提出者数	1
						未提出者数	22	提出率	4%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

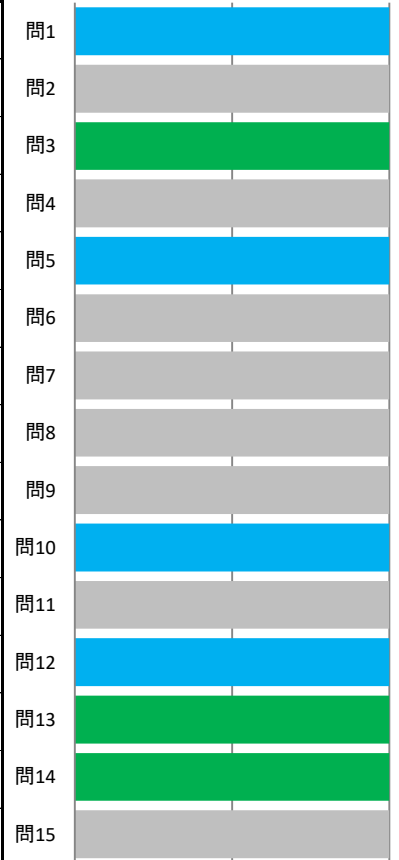
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均 4.57

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5.00	4.59	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	0.00	4.50	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.00	4.64	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	0.00	4.55	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5.00	4.51	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	0.00	4.47	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	0.00	4.55	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	0.00	4.46	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
9	演習の時間配分は適切だった。	0.00	4.38	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
10	教員の熱意が伝わってきた。	5.00	4.66	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	0.00	4.55	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5.00	4.67	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.00	4.40	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.00	4.42	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	0.00	4.20	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0	1

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

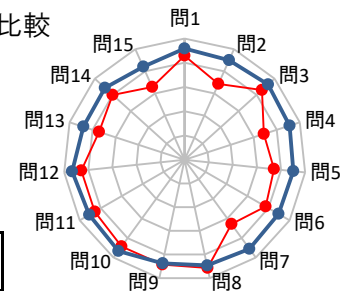
科目コード	2F0052	科目名	英語LS	担当教員	キャサリン・タカスギ	履修登録者数	22	提出者数	7
						未提出者数	15	提出率	32%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

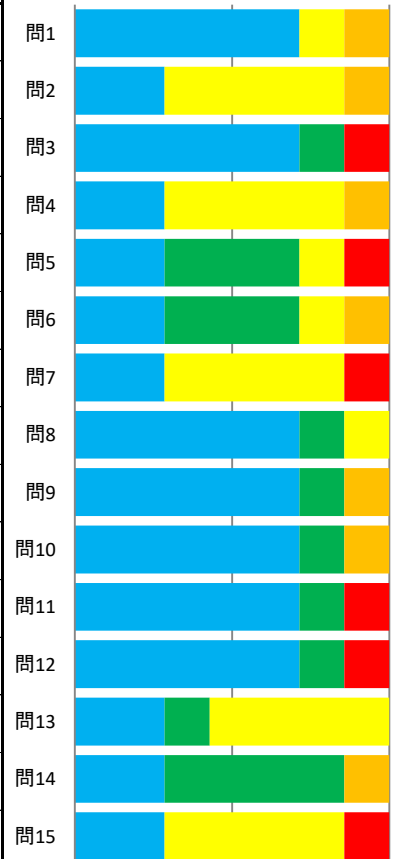
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	3.95
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.29	4.59	5(71%)	0(0%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	-	0	7
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	3.43	4.50	2(29%)	0(0%)	4(57%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.29	4.64	5(71%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0	7
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	3.43	4.55	2(29%)	0(0%)	4(57%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	3.71	4.51	2(29%)	3(43%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	-	0	7
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	3.86	4.47	2(29%)	3(43%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	3.29	4.55	2(29%)	0(0%)	4(57%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0	7
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.57	4.46	5(71%)	1(14%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	7
9	演習の時間配分は適切だった。	4.43	4.38	5(71%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	0	7
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.43	4.66	5(71%)	1(14%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	-	0	7
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.29	4.55	5(71%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0	7
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.29	4.67	5(71%)	1(14%)	0(0%)	0(0%)	1(14%)	-	0	7
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	3.71	4.40	2(29%)	1(14%)	4(57%)	0(0%)	0(0%)	-	0	7
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.00	4.42	2(29%)	4(57%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	-	0	7
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	3.29	4.20	2(29%)	0(0%)	4(57%)	0(0%)	1(14%)	0(0%)	0	7

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

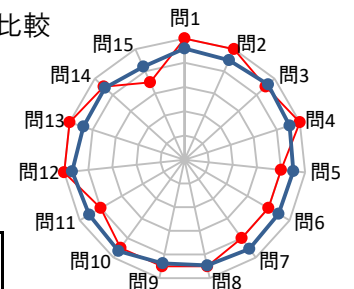
科目コード	2F0053	科目名	英語LS	担当教員	ニコルソン・チャールズ	履修登録者数	22	提出者数	2
						未提出者数	20	提出率	9%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.47
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5.00	4.59	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5.00	4.50	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.50	4.64	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5.00	4.55	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.00	4.51	0(0%)	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.00	4.47	0(0%)	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.00	4.55	0(0%)	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.50	4.46	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
9	演習の時間配分は適切だった。	4.50	4.38	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.50	4.66	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.00	4.55	0(0%)	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5.00	4.67	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5.00	4.40	2(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.50	4.42	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	3.50	4.20	0(0%)	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

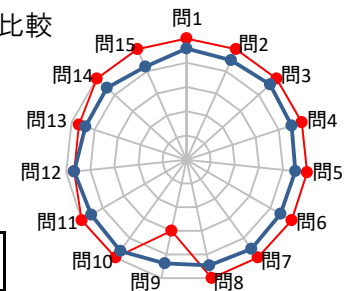
科目コード	2F0054	科目名	英語LS	担当教員	キャサリン・タカスギ	履修登録者数	22	提出者数	3
						未提出者数	19	提出率	14%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

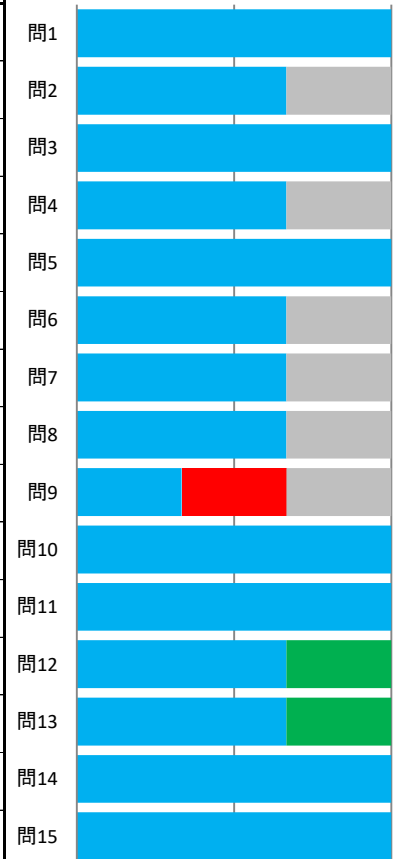
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	4.85
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5.00	4.59	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5.00	4.50	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5.00	4.64	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5.00	4.55	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5.00	4.51	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5.00	4.47	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5.00	4.55	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5.00	4.46	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
9	演習の時間配分は適切だった。	3.00	4.38	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	1(33%)	0	3
10	教員の熱意が伝わってきた。	5.00	4.66	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5.00	4.55	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.67	4.67	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.67	4.40	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	5.00	4.42	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5.00	4.20	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

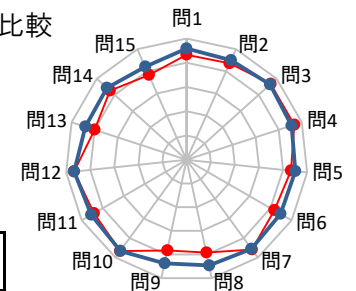
科目コード	2F0070	科目名	中国語 I	担当教員	神谷 智幸	履修登録者数	44	提出者数	12
						未提出者数	32	提出率	27%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

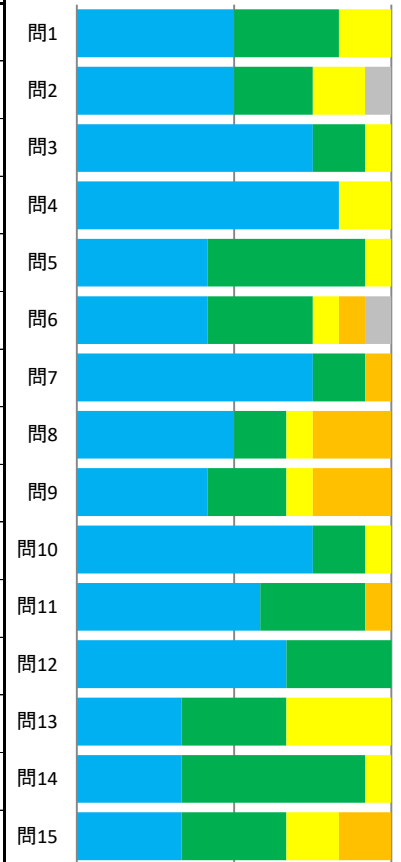
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.31
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.33	4.59	6(50%)	4(33%)	2(17%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.36	4.50	6(50%)	3(25%)	2(17%)	0(0%)	0(0%)	1(8%)	0	12
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.67	4.64	9(75%)	2(17%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	12
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.67	4.55	10(83%)	0(0%)	2(17%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	12
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.33	4.51	5(42%)	6(50%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.18	4.47	5(42%)	4(33%)	1(8%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	0	12
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.58	4.55	9(75%)	2(17%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0	12
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	3.92	4.46	6(50%)	2(17%)	1(8%)	3(25%)	0(0%)	0(0%)	0	12
9	演習の時間配分は適切だった。	3.83	4.38	5(42%)	3(25%)	1(8%)	3(25%)	0(0%)	0(0%)	0	12
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.67	4.66	9(75%)	2(17%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.42	4.55	7(58%)	4(33%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0	12
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.67	4.67	8(67%)	4(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.00	4.40	4(33%)	4(33%)	4(33%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.25	4.42	4(33%)	7(58%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	-	0	12
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	3.83	4.20	4(33%)	4(33%)	2(17%)	2(17%)	0(0%)	0(0%)	0	12

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

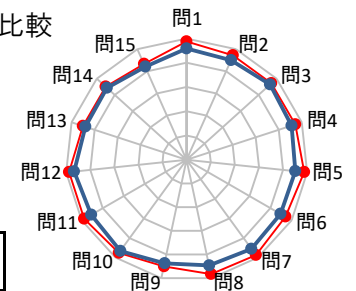
科目コード	2F0090	科目名	韓国語 I	担当教員	高昌弘	履修登録者数	45	提出者数	8
						未提出者数	37	提出率	18%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

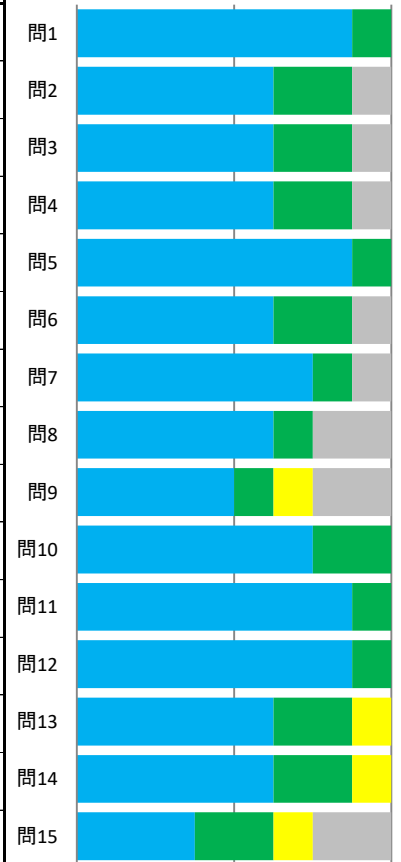
赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	4.72
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.88	4.59	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.71	4.50	5(63%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.71	4.64	5(63%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.71	4.55	5(63%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.88	4.51	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.71	4.47	5(63%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.86	4.55	6(75%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(13%)	0	8
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.83	4.46	5(63%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	2(25%)	0	8
9	演習の時間配分は適切だった。	4.50	4.38	4(50%)	1(13%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	2(25%)	0	8
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.75	4.66	6(75%)	2(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.88	4.55	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	8
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.88	4.67	7(88%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.50	4.40	5(63%)	2(25%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.50	4.42	5(63%)	2(25%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	-	0	8
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.33	4.20	3(38%)	2(25%)	1(13%)	0(0%)	0(0%)	2(25%)	0	8

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

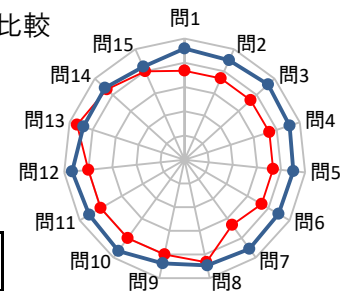
科目コード	2G0011	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	遠藤公久	履修登録者数	12	提出者数	3
						未提出者数	9	提出率	25%

*集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

*選択肢について
5:強くそう思う
4:そう思う
3:どちらともいえない
2:そうは思わない
1:全くそう思わない
0:該当なし

科目平均と全体平均との比較

赤色:科目平均
青色:全体平均



設問平均	3.91
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3.67	4.59	1(33%)	1(33%)	0(0%)	1(33%)	0(0%)	-	0	3
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	3.67	4.50	1(33%)	0(0%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	3.67	4.64	1(33%)	0(0%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	3.67	4.55	1(33%)	0(0%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	3.67	4.51	1(33%)	0(0%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	3.67	4.47	1(33%)	0(0%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	3.33	4.55	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0(0%)	0	3
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.33	4.46	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
9	演習の時間配分は適切だった。	4.00	4.38	1(33%)	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.00	4.66	1(33%)	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.00	4.55	1(33%)	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.00	4.67	1(33%)	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.67	4.40	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.33	4.42	2(67%)	0(0%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.00	4.20	1(33%)	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

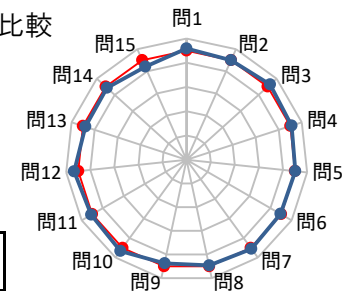
科目コード	2G0012	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	鷹田佳典	履修登録者数	11	提出者数	2
						未提出者数	9	提出率	18%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.50
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.50	4.59	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.50	4.50	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.50	4.64	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.50	4.55	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.50	4.51	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.50	4.47	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.50	4.55	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.50	4.46	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
9	演習の時間配分は適切だった。	4.50	4.38	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.50	4.66	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.50	4.55	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.50	4.67	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.50	4.40	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.50	4.42	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	2
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.50	4.20	1(50%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	2

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

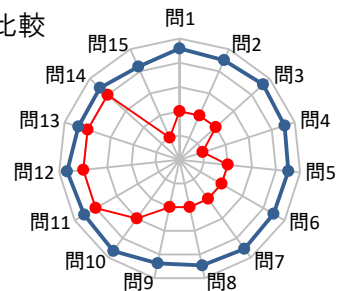
科目コード	2G0013	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	白井美穂	履修登録者数	11	提出者数	1
						未提出者数	10	提出率	9%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

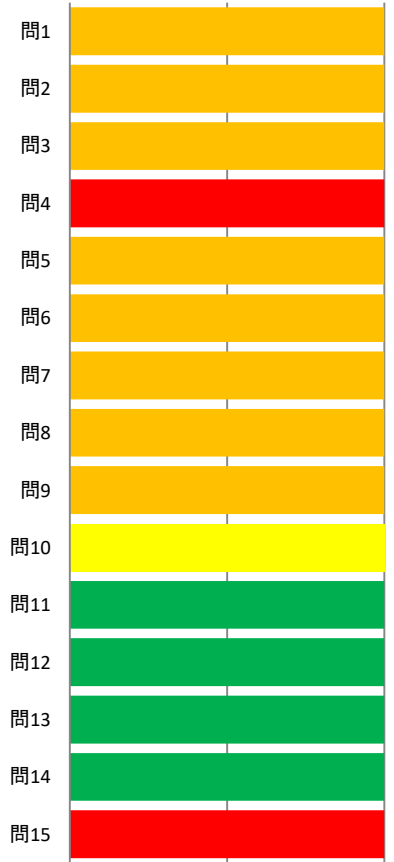
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	2.47
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2.00	4.59	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	-	0	1
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	2.00	4.50	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	2.00	4.64	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	1.00	4.55	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0	1
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	2.00	4.51	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	-	0	1
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	2.00	4.47	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	2.00	4.55	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	2.00	4.46	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
9	演習の時間配分は適切だった。	2.00	4.38	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0	1
10	教員の熱意が伝わってきた。	3.00	4.66	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.00	4.55	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.00	4.67	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.00	4.40	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.00	4.42	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	1.00	4.20	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	0	1

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

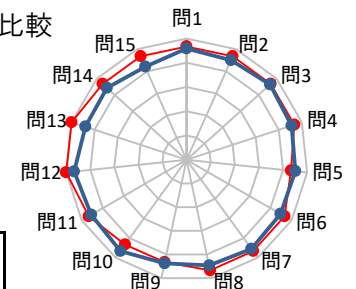
科目コード	2G0014	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	角田敦彦	履修登録者数	11	提出者数	3
						未提出者数	8	提出率	27%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

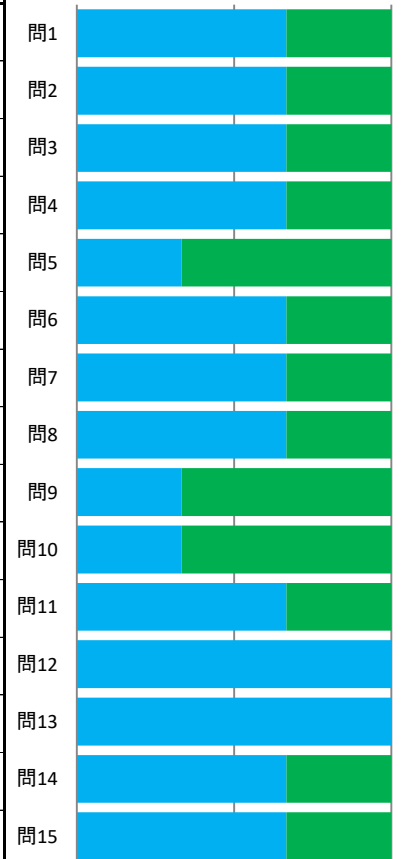
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.64
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.67	4.59	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.67	4.50	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.67	4.64	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.67	4.55	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.33	4.51	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.67	4.47	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.67	4.55	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.67	4.46	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
9	演習の時間配分は適切だった。	4.33	4.38	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.33	4.66	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.67	4.55	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5.00	4.67	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5.00	4.40	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.67	4.42	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.67	4.20	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

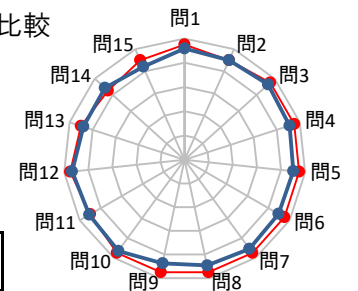
科目コード	2G0015	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	渋谷真樹	履修登録者数	11	提出者数	4
						未提出者数	7	提出率	36%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

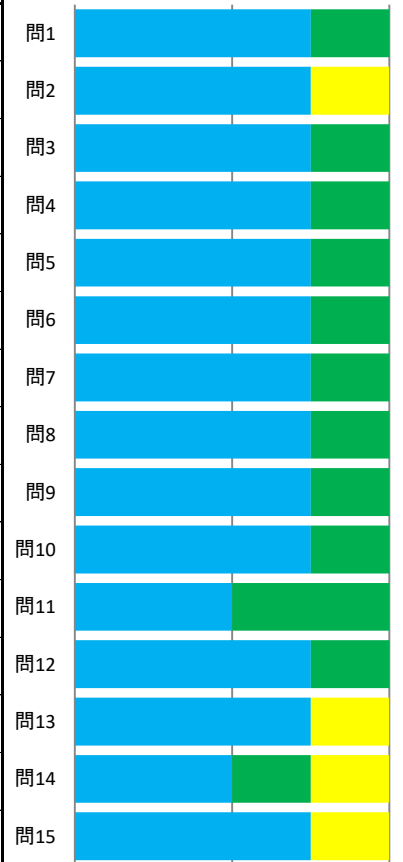
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.65
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.75	4.59	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.50	4.50	3(75%)	0(0%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.75	4.64	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.75	4.55	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.75	4.51	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.75	4.47	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.75	4.55	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.75	4.46	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
9	演習の時間配分は適切だった。	4.75	4.38	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.75	4.66	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.50	4.55	2(50%)	2(50%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.75	4.67	3(75%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.50	4.40	3(75%)	0(0%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.25	4.42	2(50%)	1(25%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	-	0	4
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.50	4.20	3(75%)	0(0%)	1(25%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	4

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

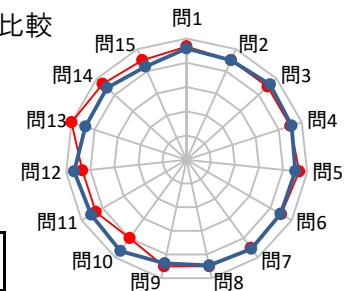
科目コード	2G0016	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	井上明宏	履修登録者数	11	提出者数	3
						未提出者数	8	提出率	27%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

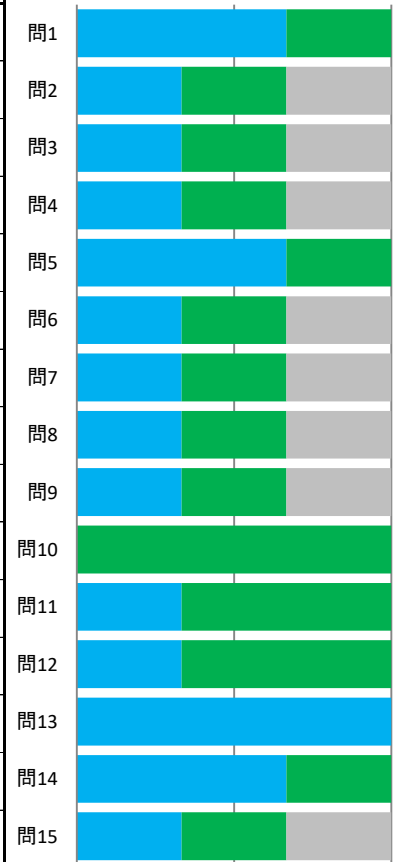
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.51
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.67	4.59	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.50	4.50	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.50	4.64	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.50	4.55	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.67	4.51	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.50	4.47	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.50	4.55	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.50	4.46	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
9	演習の時間配分は適切だった。	4.50	4.38	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.00	4.66	0(0%)	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.33	4.55	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	3
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.33	4.67	1(33%)	2(67%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5.00	4.40	3(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.67	4.42	2(67%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	3
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.50	4.20	1(33%)	1(33%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(33%)	0	3

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

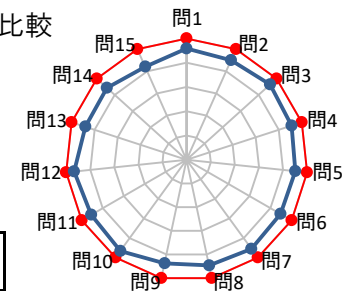
科目コード	2G0017	科目名	基礎ゼミ I	担当教員	宮崎正峰	履修登録者数	11	提出者数	1
						未提出者数	10	提出率	9%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

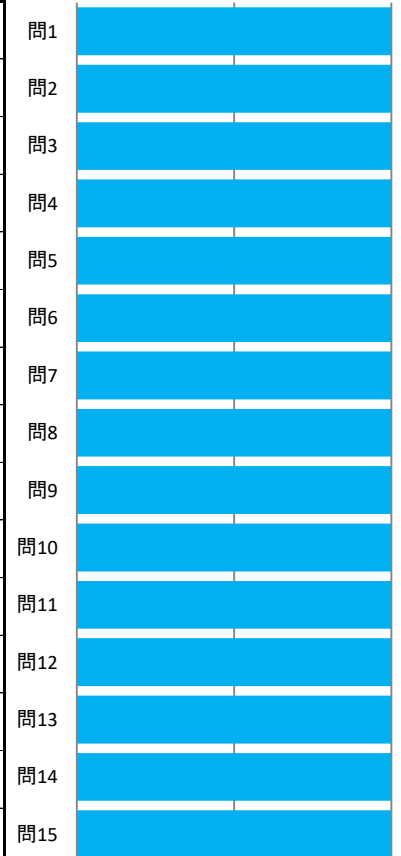
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	5.00
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5.00	4.59	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5.00	4.50	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5.00	4.64	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5.00	4.55	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5.00	4.51	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5.00	4.47	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5.00	4.55	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5.00	4.46	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
9	演習の時間配分は適切だった。	5.00	4.38	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
10	教員の熱意が伝わってきた。	5.00	4.66	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5.00	4.55	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5.00	4.67	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5.00	4.40	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	5.00	4.42	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	1
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5.00	4.20	1(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	1

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

科目コード	2J0010	科目名	看護技術論 I (援助の人間関係)	担当教員	松本佳子	履修登録者数	89	提出者数	13
						未提出者数	76	提出率	15%

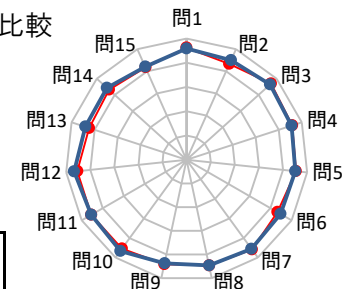
* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

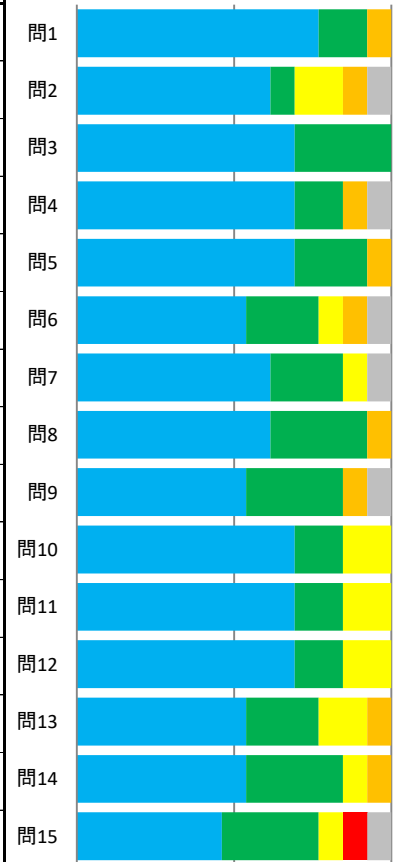
赤色: 科目平均
青色: 全体平均

設問平均	4.46
------	------



問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.62	4.59	10(77%)	2(15%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	-	0	13
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.33	4.50	8(62%)	1(8%)	2(15%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	0	13
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.69	4.64	9(69%)	4(31%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	13
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.58	4.55	9(69%)	2(15%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	0	13
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.54	4.51	9(69%)	3(23%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	-	0	13
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.33	4.47	7(54%)	3(23%)	1(8%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	0	13
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.58	4.55	8(62%)	3(23%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	1(8%)	0	13
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.46	4.46	8(62%)	4(31%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0	13
9	演習の時間配分は適切だった。	4.42	4.38	7(54%)	4(31%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	0	13
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.54	4.66	9(69%)	2(15%)	2(15%)	0(0%)	0(0%)	-	0	13
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.54	4.55	9(69%)	2(15%)	2(15%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	13
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.54	4.67	9(69%)	2(15%)	2(15%)	0(0%)	0(0%)	-	0	13
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.23	4.40	7(54%)	3(23%)	2(15%)	1(8%)	0(0%)	-	0	13
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.31	4.42	7(54%)	4(31%)	1(8%)	1(8%)	0(0%)	-	0	13
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.17	4.20	6(46%)	4(31%)	1(8%)	0(0%)	1(8%)	1(8%)	0	13

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



【さいたま看護学部】2020年度前期 授業改善アンケート(演習)

日本赤十字看護大学

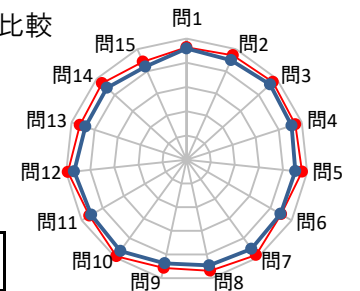
科目コード	2J0040	科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)	担当教員	殿城友紀	履修登録者数	89	提出者数	14
						未提出者数	75	提出率	16%

* 集計について
平均は、小数点第3位を四捨五入して算出しています。
全体平均は、演習の平均です。

* 選択肢について
5: 強くそう思う
4: そう思う
3: どちらともいえない
2: そうは思わない
1: 全くそう思わない
0: 該当なし

科目平均と全体平均との比較

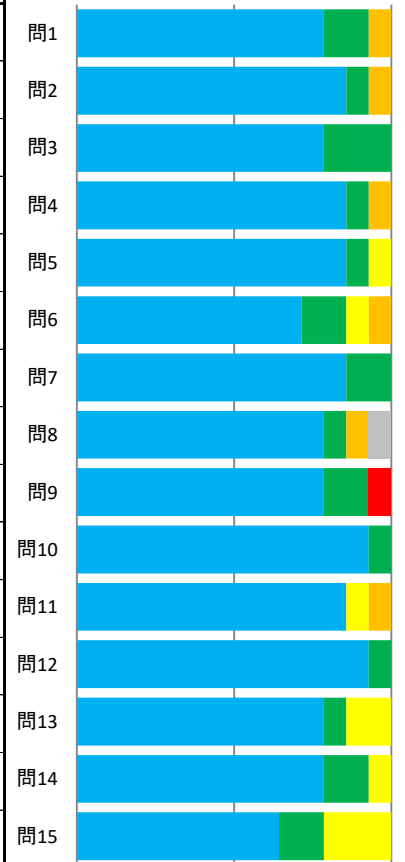
赤色: 科目平均
青色: 全体平均



設問平均	4.70
------	------

問	設問文	科目平均	全体平均	回答数(回答率%)						無効回答	有効回答
				5	4	3	2	1	0		
				強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そうは思わない	全くそう思わない	該当なし		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4.64	4.59	11(79%)	2(14%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	-	0	14
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	4.71	4.50	12(86%)	1(7%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	14
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4.79	4.64	11(79%)	3(21%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	14
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	4.71	4.55	12(86%)	1(7%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	14
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	4.79	4.51	12(86%)	1(7%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	-	0	14
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	4.50	4.47	10(71%)	2(14%)	1(7%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	14
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4.86	4.55	12(86%)	2(14%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	14
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	4.69	4.46	11(79%)	1(7%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	1(7%)	0	14
9	演習の時間配分は適切だった。	4.57	4.38	11(79%)	2(14%)	0(0%)	0(0%)	1(7%)	0(0%)	0	14
10	教員の熱意が伝わってきた。	4.93	4.66	13(93%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	14
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4.64	4.55	12(86%)	0(0%)	1(7%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0	14
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4.93	4.67	13(93%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	-	0	14
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	4.64	4.40	11(79%)	1(7%)	2(14%)	0(0%)	0(0%)	-	0	14
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	4.71	4.42	11(79%)	2(14%)	1(7%)	0(0%)	0(0%)	-	0	14
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	4.43	4.20	9(64%)	2(14%)	3(21%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0	14

■ 強くそう思う ■ そう思う
■ どちらともいえない ■ そうは思わない
■ 全くそう思わない ■ 該当なし



No.	科目コード	科目名	担当教員名	コメント
B003	2B0081	身体運動実技	白井美穂	受講いただいた皆様手探りで授業となりましたが、皆さんから「新しい事を沢山知れてよかった」「分かりにくかった動きをリアルタイムでみんなでヨガを行うことができてよかった」との意見を頂きました。また、改善点として、zoomだと自分が実際に行うときに先生のことが見えなくなってしまうことがあったとの意見もあり、次年度は注意して、よりよい授業づくりをしていきたいと思います。白井
B004	2B0082	身体運動実技	白井美穂	受講いただいた皆様手探りで授業となりましたが、皆さんの協力のもと大きな問題なく授業が行えた評価を頂きました。次年度は、事前事後の学習にも力を入れて、今後もよりよい授業づくりをしていきたいと思います。白井
B005	2B0083	身体運動実技	白井美穂	受講いただいた皆様手探りで授業となりましたが、皆さんから「生徒の希望に合わせて授業形態を変えたこと」「詳しい説明を交えた動画と一緒に運動することが分かりやすかった」との意見を頂きました。次年度もこれらを取り入れ、よりよい授業づくりをしていきたいと思います。白井
B008	2F0021	英語 RW I	川崎修一	過大な評価をありがとうございます。これを励みに、さらに授業改善に取り組んでいきたいと思います。
B009	2F0022	英語 RW I	川崎修一	過大な評価をありがとうございます。これを励みに、さらに授業改善に取り組んでいきたいと思います。
B010	2F0051	英語 L S	ニコルソン・チャールズ	語学の遠隔授業は、とくに大変かとおもいますが、受講生のご協力で、教員も楽しく授業ができました。
B012	2F0052	英語 L S	キャサリン・タカスギ	アンケートに答えた生徒がとても少なかったことが残念です。
B011	2F0053	英語 L S	ニコルソン・チャールズ	今回、配信型の授業としたので、あまり録音・録画に力をいれなかったです。好きなだけ授業の録音を聞くことができるのは、通常できませんが、今回の一括録音（一コマ）は、もう一度聞きたいところが聞けることができたとおもいますが、探すのは手間だったかとおもいます。聞きやすいように分割したほうがよかったでしょう。
B013	2F0054	英語 L S	キャサリン・タカスギ	アンケートを提出した生徒があまりにも少なく残念です。
B014	2F0070	中国語 I	神谷 智幸	はじめに、今年度は例年とは比較できない特別な年だということをお断りしておきます。初めての大学生活で大きな不安を抱える中、授業の実施にご協力くださり、また大変よく頑張られたと思います。そのことに心より感謝いたします（授業改善アンケートの回答率が予想よりかなり低いのは残念でしたが）。 「中国語 I」は、このような年だからこそ「中国（語）」に対する決めつけや偏見を取り除くことに重点を置き、授業を実施してきました。不安がすこしでもやわらぐよう、個別にいていないに連絡・対応することも心掛けました。アンケートの結果は全項目ほぼ全体平均と同じか、それを下回っておりまして。さいたま看護学部の授業が開設1年目であるということ、設問文が看護の専門に基づいているという点を差し引いても、改善の余地がまだまだあると思います。全体平均を下回っている項目をひとつひとつ丁寧に改善していきたいと思います。 対面授業で当たり前にできていたことができないという制約は多くあったのですが、オンライン授業でのメリットもありました。個別のコメントでは、Zoomでの発音練習は満足度が高く、肯定的なご意見が多かったです。個別のコメントとしては、Zoomを導入した当時の待機時間が長すぎるというご意見がありましたが、これは学生番号や入室順により、半分に分けるなどすることにより、改善をいたしました。今後も今年度の経験をもとによりよい授業ができるよう努めたいと思います。

No.	科目コード	科目名	担当教員名	コメント
B015	2F0090	韓国語Ⅰ	高昌弘	・習った言葉に関連させて韓国人の習慣とか韓国のこととか教えてくださるのが嬉しい。→言葉を学ぶ際、その国の文化や習慣を知ることによって「だからそうなんだ」と理解できるところもたくさんあるんですね。・授業の中で自分で発音したりして確認することが出来たので良かった。→聞いただけでは自分がちゃんと発音できるかどうかというのがわからないのでちゃんと声を出して発音の練習をした方がいいですね。・はじめのうちはオンデマンド型でしたが、後半は同時双方型だったので先生のネイティブの韓国語がリアルタイムで聞けたのでとても良かったです。韓国語は初めて触れた言語でしたが先生のオンデマンド型の授業もリアルタイムの授業もとても面白かったです。楽しく韓国語が学べました。→オンデマンド型は初めてだったのでうまく行くかどうかとても心配だったのですが、ほとんどの学生が一生懸命韓国語を覚えてくれたのでとても嬉しかったです。さすが看護大学の皆さん、素晴らしい！と思いました。私も楽しく授業を受けている皆さんの姿を見ていて嬉しかったし、とても楽しく授業することができました。・細かく発音とか指導してくれてとてもわかりやすくて楽しかった。→韓国語は発音の変化が多くて覚えるのが大変だと思いますが、パターンを掴めば初めて見る語彙でもすらすら読めるようになると思います。・韓国語の文法について詳しく楽しみながら学ぶことができた。→「今日の文法」で学習した文法を使って日本語を韓国語に訳すのは皆さん特に問題なくできていたので良かったです。皆さんが書いた文章（練習③）の添削もできたらもっとよかったのではないかと思います。・もともとできる人とか、速い人に合わせてるので考える時間がもう少し欲しいです。→そうですね。特に作文の例文をやっている時、皆さん必死になって日本語訳を書いているのを見ていてもう少しゆっくりするか、形式を変えなければと思いました。
B016	2G0011	基礎ゼミⅠ	遠藤公久	遠隔授業であり、またはじめて顔を見合わせるという1年生にとって、この基礎ゼミは少しきついものであったかもしれません。お互いに緊張感があり、自由な発言を促してもなかなか発せられないというところもあったかもしれません。そのような緊張感をもう少し私のほうで緩和できたら良かったと反省しております。
B017	2G0012	基礎ゼミⅠ	鷹田佳典	今年は初めてオンラインでの実施となりました。自宅学習も多く、受講生の皆さんにとっては大変な部分が多かったことと思います。GlexaのBoard機能をうまく生かせなかったのが、次年度に向けての課題にしたいと思います。
B018	2G0013	基礎ゼミⅠ	白井美穂	受講いただいた学生の皆様まずは、授業評価アンケート実施の周知がいきわたっておらず、1名の回答しか得られなかったことを改善したいと思います。また、全体的にとても低い評価を頂きましたので、次年度はさらによりよい授業づくりを目指して頑張っていきたいと思います。白井
B019	2G0014	基礎ゼミⅠ	角田敦彦	今年度はオンデマンドと双方向のハイブリッドなゼミ展開となり、学生の皆さんと教員双方に戸惑いを感じながら進めることになりました。アンケートを拝見すると、学生の皆さんの意欲と協力的な参加によって、一定の効果を上げることができたようです。次年度以降どのような環境になるのかまだわかりませんが、可能な限り学生の皆さんが楽しみながらゼミの目的を達成できるよう、今後も工夫していきたいと思います。
B020	2G0015	基礎ゼミⅠ	渋谷真樹	おおむね高い評価をいただき、うれしいです。コロナ禍での貴重なリアルタイムの授業だったこともあり、みんなが発言でき、認め合えることが、高評価の一員だったように思います。これからも皆さんの探究力や思考力を高めるべく、励んでいきます。
B021	2G0016	基礎ゼミⅠ	井上明宏	教員も初めての基礎ゼミの遠隔授業で要領を得ないこともあり、いろいろ不手際がありましたが、辛抱して学修していただきたいと思います。レポートは、皆さんよく書いていました。当科目での学びを活かして、引き続き学びを積み重ねてください。

No.	科目コード	科目名	担当教員名	コメント
B022	2G0017	基礎ゼミⅠ	宮崎正峰	オンラインという慣れない環境でしたが、みなさんの協力で楽しくやってこれたと感謝しています。2年生になって新たな気持ちで大学生として通学しながら大学生活を楽しんでいくことを願います。
B027	2J0010	看護技術論Ⅰ（援助的人間関係）	松本佳子	zoomのグループワークでは、ブレイクアウトルームの機能を取り入れ、学生の皆さんや教員との交流を図ることができました。その際、学生の皆さんそれぞれから想像以上の率直な意見が語られ、話し合いをすることができて、対面授業は難しいながらも、何とか相互交流が可能であったことにほっとしています。次回からは、演習の意図を、事前に丁寧に説明することに努めたいと思います。また万が一、来年度も遠隔授業になった際には、Glexaとの併用も検討していきたいと思います。
B028	2J0040	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）	殿城友紀	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございます。遠隔での技術演習は私たちにとっても初めての体験でしたが、学生さんが主体的・積極的に参加してくださり、協力しながら授業を作り上げることができたと感じています。今後も、分かりやすいデモンストレーション、演習記録・フォーラムへのフィードバックを大切にしていって、楽しく学んでいけるよう工夫していきます。質問しにくい環境というご意見は、オンラインのためでしょうか。対面の際には、多くの教員が配置されますので、改善されるのではないかと考えています。オンラインの際にも質問しやすいような方法を検討したいと思いますので、学生のみなさまからのご提案がありましたらお聞かせください。